

会 議 録（要点記録）

会 議 名	第 3 8 期第 6 回小金井市公民館運営審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	令和 8 年 4 月 2 2 日（水）午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 3 5 分		
開 催 場 所	小金井市公民館本館 学習室 B		
出 席 委 員	大坪委員長 倉持副委員長 福井委員 関委員 嶋田委員 石原委員 池本委員 川上委員 小勝委員		
欠 席 委 員	武田委員		
事 務 局 員	鈴木公民館長 諏訪庶務係長 河田主査 落合事業係長 八方貫井南分館長		
東分館・緑分館・貫井北 事業運営受託者	N P O 法人市民の図書館・公民館こがねい 鈴木東分館長 倉本緑分館長 伊藤貫井北分館長		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0 名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 開会 令和 8 年度公民館の体制について 2 第 5 回公民館運営審議会の議事録の承認について 3 審議事項 (1) 令和 8 年度公民館重点施策について (2) 公民館事業の計画について 4 報告事項 (1) 令和 8 年度公民館に関する主な事業予算 (2) 使用料導入について (3) 公民館事業の報告について 5 その他 6 閉会 配付資料 資料 1 令和 8 年度公民館の体制について 資料 2 令和 8 年度公民館重点施策 資料 3－1 公民館事業の計画 資料 3－2 令和 8 年度市民がつくる自主講座 資料 4 令和 8 年度公民館に関する主な事業予算 資料 5 公民館使用料導入に関する調べ 資料 6 公民館事業の報告		

会 議 結 果

1 開会

令和 8 年度公民館の体制について

【鈴木公民館長】

資料 1 をご覧いただきたい。4 月 1 日付の人事異動を報告する。

市民部市民税課から河田が公民館主査として庶務係に配置された。

続いて、緑分館には、昨年度まで緑分館の副分館長であった倉本緑分館長、貫井北分館は、昨年度までは緑分館長の伊藤貫井北分館長となる。

2 第 5 回公民館運営審議会の議事録の承認について

【大坪委員長】

第 5 回公民館運営審議会議事録については、承認ということによろしいか。

(異議なし)

3 審議事項

(1) 令和 8 年度公民館重点施策について

【鈴木公民館長】

資料 2 をご覧いただきたい。前回、提案をさせていただき、特段意見等はなく、今年度の公民館重点施策を原案のとおり承認賜りたい。

【福井委員】

重点施策 5 は、家庭と地域をつなぐ施策の推進による家庭教育への支援で、当然公民館は社会教育の構成メンバーで、家庭教育の支援はしにくい面があると思うが、この重点施策をどのような内容で運営するかがあれば、具体的に伺いたい。

【落合事業係長】

施策 5 の部分は、原則的に親子の講座で対応したい。公民館には、緑分館と貫井北分館には幼児用のスペースがあり、その利活用、また、ほかの館も検討は必要で、具体的な計画はないところであるが、各館で実施していきたい。

【大坪委員長】

ほかになれば、令和 8 年度公民館重点施策について、承認ということによろしいか。

(異議なし)

(2) 公民館事業の計画について

【落合事業係長】

資料 3-1 を先に審議いただき、その後 3-2 を説明したい。

通常の主催事業は、5 館 6 事業の計画となる。

本館は 5 事業で、青年教育事業の青年学級みんなの会は、障害者の方の生涯学習の

場として毎月第2・第4日曜日に実施する。市内在住等の養護学校を卒業した、ある程度身の回りのことが自分でできる青年の皆さんが登録し、絵画やゲーム、スポーツ、ハイキング等を行っている。講師は、元小金井特別支援学校の矢野先生である。

昨年に引き続きの市民講座は、障害者支援ボランティア講座で10月と2月頃に、障害者支援を行っているNPO法人こげら会の森川治彦さんを講師として実施。

文化活動事業は、第45回の公民館本館まつりを5月23、24日、将棋大会を5月9日で予定している。

【八方貫井南分館長】

第42回貫井南センターまつりの特別イベントとして、「阿波おどり」を公演する。阿波おどりは、西は徳島、東は高円寺と言われ、高円寺の連協会に所属の菊水連に出演をしていただく。あわせて、学芸大学の和太鼓サークル結も、菊水連との交流があることから一緒に出演する。

センターまつりの目的は、日頃からのサークル活動の発表の場で、実行委員会や出演の方々は準備段階から楽しみにしていて、毎年のオープニングでは、学芸大学のクラシックギタークラブの演奏が好評である。

【鈴木東分館長】

東分館は2本の計画で、成人学校多文化共生講座は、やさしい日本語でやさしい地域づくりで、ワークショップ形式の地域共生について考える講座となっている。第1回はやさしい日本語の基礎、第2回は外国人を招いての実践となる。講師の井上くみ子さんを招き、重点施策の項目を踏まえた企画となっている。

成人学校子ども・子育て支援講座は、はじめての子育て応援ひがし赤ちゃんCafeで、東分館の独自性のある事業で令和2年より実施している。第1子が1歳未満の子と親が参加の連続講座で、この手の講座はあまりないのが特徴で、6月4日の木曜から11月5日までの全8回、6月20日（土）は「赤ちゃんの救急救命」と題し、父親も参加できるようになっている。

【倉本緑分館長】

緑分館は3事業で、生活日本語教室は、読み書きや日常会話に不自由している外国の方に対し、生活日本語教室のボランティアスタッフが、市民生活に必要な日常会話の学習支援、日本文化の体験なども行う講座で、40名程度の生徒が初級から上級のレベル別に、先生一人に対し3名程度のグループで、4月4日から毎週土曜日の10時半から12時で開催する。

国際交流イベントのサッカーワールドカップを楽しむ方法は、市サッカー協会の協力で、ワールドカップの楽しみ方やサッカーの魅力や歴史などを振り返りながら学べる講座で、講師は鷲尾正孝先生ほか2名で行う。

成人大学講座の雨降る星への誘い 雨の文化・環境・科学を考えるー東京農工大学コラボ講座2026は、50年以上、日本、アジア、世界の酸性雨の研究に取り組まれている、東京農工大学名誉教授の原宏先生を招き開催する。

【伊藤貫井北分館長】

貫井北分館は4事業で、成人教育事業の地域研究講座のこがねい散歩は、地域の魅力を知りつつ、参加者の方々が交流を深める講座で、市内在住の小林力さんにガイドをお願いする。

健康づくり講座のヨガで楽しくリフレッシュは、昨年度も好評であった、全4回、保育付きの講座である。健康づくりだけではなく、孤立した子育てにならないようなコミュニティとしてのサポートを図りたい。

文化活動事業の世界が変わる生成AI体験講座は、重点施策にあるICTの活用の講座です。講師は小金井ICTサポーターズで、パソコン相談でも活躍の市民のグループである。

男女共同参画教育事業こがねい保育サポーター制度は、ひがし赤ちゃんCafe、ヨガで楽しくリフレッシュ講座の保育とも関係し、現在、第6回までの養成講座の受講修了生、約30名が登録しており、3人から2人のチームで保育を担当する。公民館5館の保育付き講座の開催での実践と、また、課題解決等をサポートしていきたい。

【落合事業係長】

最後に5、6月は、4館でお祭りが実施され、委員の皆さんにも来場いただきたい。

【大坪委員長】

資料3-1について質問等をお願いする。

【福井委員】

本館まつりの将棋大会と従来の本館まつりは、2週間以上の開きがあるが、同日に開催されない理由は会場スペースの問題であるか。また、備考欄の消防団と警察署はどういった役割をされるのか。

【落合事業係長】

将棋大会と本大会との開きは、福井委員からのとおりで、会場スペースの問題で3クラス対戦で60～70名が集り、同日実施は厳しい状況。また、2週間の間に貫井南分館の祭りがあるため、かぶせられず毎年このようにしている。

本年度は、消防団がポンプ車、警察署はパトカーで参加し、交通安全推進等の話や、車両により子どもたちを含めた広い層を呼び込みたい。

【福井委員】

よく分かりました。大いに期待したい。

【大坪委員長】

AIの開催はいかがか。

【伊藤貫井北分館長】

6月5日、19日のいずれも金曜日で、全2回に訂正をお願いしたい。

【石原委員】

貫井南分館の阿波おどりの事業の特色欄に、頼める参加型のイベントとは何か。

【八方貫井南分館長】

誤記載となる。一緒に楽しめるということで訂正をお願いしたい。

【大坪委員長】

公民館まっりの目的は公民館使用団体の発表の場とのことで、ふだん公民館を使われない方の参加率はどのくらいのイメージか。

施設使用料の受益者負担を進めるに当たり、多くの市民を取り込める公民館に変わらなければならない中で、対外向けに切り替えないと公民館の立場、体質が変わらないので、そういったものにつなげていただきたいと思うが。

【落合事業係長】

各館のまっりのコンセプトは、公民館利用団体が一堂に集まり、それを内外に発表する場で、相当数の団体であるが参加団体は毎年減っている。高齢化や公民館を練習の場といった形で使用することが非常に大きい。所謂集って勉強というイメージから流れが変わり、どのようにV字型に切り上げるかを事務局も考えている。

【大坪委員長】

消防車やパトカーが来ると子どもは興味を持つし、そういった部分でつなげていければ。また、消防団はまさに自主活動で、公民館の自主的な学びと非常に似ていて、消防団にも、公民館、団体にとってもいいきっかけづくりに発展していければと思う。

【関委員】

事業の紹介の中で、魅力的な講座もたくさんあり、参加者はどのような手段でイベントを知り、参加されるのか。発信の仕方で、先ほど落合係長からの、公民館まっりの参加者側の課題も変わっていくのではないかと。

【落合事業係長】

市のPR媒体は限られ、市報、ホームページ、月刊こうみんかんと、LINE、ツイッターでPRし、効果は出ている。また、講座受講の最後にアンケート調査を実施し、全館で集計しているが、市報の反響が一番で、ただ、少年教育や家庭教育では、世代なのかLINEの集客率が高い。

【嶋田委員】

公民館の団体は、発表の場がモチベーションにもなるので、続けていけるといい。参加団体の協力により、チラシ配布や知り合いへの声かけ等で集客することも大事だと思っている。

ポンプ車やパトカーは駐輪スペースで写真撮影などを行い、交通規制はしないイメージであるか。

【落合事業係長】

ポンプ車等は、駐車スペースに置き、それぞれで運用してもらう。

本館まつりのチラシは、昨年より各団体に５０部ずつお願いしているが、団体の高齢化により苦になっている部分もある。

また、市と協定を結んでいる企業も参加していて、ここ数年、各分館ともに祭りを通じて、コミュニティとして開かれた公民館を目指し活動している。今回のような議論はうれしいので、お祭りに参加し一緒に盛り上げていただけたら。

【池本委員】

公民館まつりに１０年以上参加しているが、公民館自体の認知度は知られていない。発表者の協力で、少しずつ告知はしているが、入れ替わりや高齢化などで定着しない。しかし、祭りをやっていることは、少し目立ってきている。

今年の本館では、レールクラブが大きなゲージを組んで展示し、また、バルーンなどは子どもに人気で、一生懸命頑張っているが、エンタメ系ではないので、告知は簡単ではない。委員の方も参加したり、チラシを見るだけでも楽しいと思う。

また、図書館が併設の公民館が多く、そこから、誰かと一緒に行かない？というような活動を、１人ずつやらないと広まらないのではないかな。

【大坪委員長】

ほかになれば、資料３－１の事業の計画については承認ということによろしいか。

(異議なし)

【大坪委員長】

次に資料３－２、市民がつくる自主講座についての説明をお願いします。

【落合事業係長】

市民が作る自主講座は毎年、公運審で諮り承認で実施する形で、公民館講座と同様のレベルのものを、公民館利用団体、個人で実施し、活動を拡大していくという目的である。

資料の取扱要領と募集要項をご覧ください。今年度の第１次募集は４月３日に終了し、３団体と１個人からの申込みがあった。枠の空きにより、４月３０日まで募集を再度行っているが、現時点で２件の申込みも掲載している。

１番は小金井音楽療法の会で、家にいる高齢者の方に公民館で音楽を使って体を動かしたり、歌を歌ったり、楽器演奏したりでコミュニケーションを取り、楽しく心身のリフレッシュをしてもらうという形のコンセプトとなる。

２番は個人申込みで、近年、コミュニケーションやおしゃべりの機会が少なく、また、独り暮らしの人口も増え、１日の会話量が足りていない。声帯が弱り、誤嚥、食事中にむせる、話の最中にせき込むなどが増えている中で、楽しくトレーニングをしますという形の申請である。

３番は小金井ラミィキューブの会で、ボードゲームの講座である。年齢・性別・立場を超えて人が交流するための有効なツールで、特にルールが易しく、１ゲームが短く、脳トレやゲームを通じて多世代交流を図る一助とすることを目的としている。

4 番はc o c o n e（小金井ひきこもり家族会）で、申請一覧の回数は、2 回でなく3 回に訂正をお願いしたい。少しインターバルを置く連続講座で、1 回やってフィードバック、次に2 回目というような形で実施すると聞いている。当事者や生き辛さを抱える者と、その家族のピアサポートと情報交換を目的とした学習会であり、誰もが孤立することなく、1 人で悩まず、つながり、学び合いながら一緒に考えるというコンセプトである。

5 番は公民館の明日を考える会から、子どもと大人をつなぐ地域づくりパート3 〜ペットボトルで走る車をつくろうで、地域の子供の健やかな成長のために、人口構成が将来3 0 %を超えると予想される高齢者が、長年培ってきた知識を基に、子供と一緒に、工作を通じて、楽しいひとときを過ごし、地域の輪を広げ、多世代の交流も含めたものとしている。

6 番はクリスタルの無形文化遺産を通してみる日本文化〜伝統的なモノづくりの技を中心にとの企画で、無形文化財のうち、一般庶民の生活・慣習・行事そのものに近い民俗文化財は、その保持・継承が難しく、今回、伝統的なモノづくりの活動の紹介、民俗文化財をいかに守り、残すかの意義を学ぶものとなっている。

提出された企画説明シートは、講座の狙い、学習内容が書かれたもので、昨年から作成している。審議のために内容を御確認いただき、御承認いただきたい。

【福井委員】

今までは、一般部門と男女共同参画部門で分かれていたが、垣根をなくしたということか。また、各部門の合計で4 0 講座の予算が組まれていたと思うが、同じであれば、現在1 0 講座分で予算が残っていると思うが、再募集はしないのか。

【落合事業係長】

予算は全4 0 回で、3 月1 日から4 月3 日まで募集し、枠に余裕があるため、現在ホームページ等で二次募集している。部門別には変更はなく、承認後に事務局で割り振りをする。

【福井委員】

1 0 講座しか申込みがないということだが、第3 回を行わず予算を残したまま、今年度は終了とするのか。

【落合事業係長】

そのとおりである。

【福井委員】

センターまつりの広報の問題と同様に、4 0 講座が1 0 講座程度で推移では、今後の広報方法を考慮するなど、みんなで意見を出し合って、参加団体を増やすということを協力していきたい。

【落合事業係長】

近年、講座の申込みが少なく、様々な形で、団体に声掛けしているが団体の体力の

問題もある。また、同じ団体が繰り返していることもあり、今後は底辺の拡大ということの、社会教育として一番大事なところを考えていきたい。

公運審での議論はレベルアップにつながっていくので、ぜひ意見を拝借したい。

【大坪委員長】

自主講座とは、何かの団体で、我々はどういうことを学びたいとなったときに、公民館の制度を使って開催するイメージでいいか。

【落合事業係長】

それに近いイメージで、自分たちの学びをより広く市民の方にとの講座である。

【石原委員】

企画説明シートの様式で、①と②の選択の記載はどちらかを選ぶなど、統一的にすると、内容が見やすいと思うが。

【落合事業係長】

①と②は社会教育として公民館の目的で、画一的に選ばせることも馴染まず、応募する団体は、社会教育や公民館に対する熱意が非常に大きく、絞って書けない場合もある。分かりづらい部分もあるが、熱意を読み取っていただきたい。

【石原委員】

①または②を選択と書いてあるので、選択しないといけないのかと見えるが。

【落合事業係長】

今後は調整したい。

【大坪委員長】

そのほかがなければ、市民がつくる自主講座の事業計画について承認ということによろしいか。

(異議なし)

4 報告事項

(1) 令和8年度公民館に関する主な事業予算

【諏訪庶務係長】

資料4をご覧ください。令和8年度公民館に関する主な事業予算で、施設の設備関係は主に4項目である。

エレベーター設置の3館は経年劣化等による修繕、防犯カメラの全館設置、券売機の全館設置及び東センターは屋上防水工事を都営住宅の改修と併せて実施する。

事業系の新たな項目はなく、引き続き事業展開を行う。

【大坪委員長】

昨年度に東センターで空調を整備したが、ほかの館は大丈夫であるか。

【諏訪庶務係長】

公民館施設における空調設備は、東分館、貫井南分館は館内空調を一新し、緑分館は視聴覚室、本館学習室Bも不具合により入替えを行った。その他貫井北センター、緑センターについても計画的に考えていきたい。

【嶋田委員】

令和8年度のこの期間は、公民館利用はストップせず、利用できる形であるか。

【諏訪庶務係長】

施設利用に制限はなく、通常どおり開館の予定である。

(2) 使用料導入について

【諏訪庶務係長】

資料5をご覧ください。過日の説明会の意見の取りまとめについて、市議会定例会での条例審査資料に、内容が含まれているので、本日の資料とさせていただいた。内容については、一読いただきたい。

【鈴木公民館長】

3月議会で、使用料の導入に係る公民館条例の一部を改正する条例を提案し、可決され、具体的には9月から使用料を頂く準備を進めている。7月をめぐり、改めて利用者向け説明会の機会を設ける考えでいる。委員長も、委員会での審議中継を御覧いただいたが、大変厳しい質疑で、最終的には賛成16、反対7で可決した。

公運審でも長らく議論いただき、ようやくここで使用料の導入が正式に決定した。今後は利用者に分かりやすく使用料をお支払いいただけるよう、努めたい。

【福井委員】

来月以降の公運審で、券売機の支払いに関する内容を提示していただきたいが。

【鈴木公民館長】

公運審でも議論をいただき、最終的には市で決定した。市民、利用者へ当然説明を行うが、公運審でも同様に説明し、御理解いただけるようにと考えている。

【福井委員】

現金も併用できるということによろしいか。

【鈴木公民館長】

そのとおりで、券売機に現金を投入し、券を買えるので、職員が直接現金をやり取りしない。

【池本委員】

導入された後の話で、新たに得た使用料がどのように使われていくのかを知りたいところである。

【鈴木公民館長】

頂いた使用料は、公民館施設の維持管理費に充てる予定で、令和8年度は400万程度の歳入見込であるが、券売機設置等の経費もかかる。最終的な収支についても公運審で報告したい。

【大坪委員長】

前期での当初、会計の性質上、一般会計に入るため、公民館のために使えると約束できないぐらいのニュアンスであったが、提言書にその使用の用途を入れる議論で、かなり前進できたと思っている。

どこに使われるかも大事ではあるが、一定決まっている中で、公運審として公民館がどこにどう進むのかを考えることに関わってくるので、資料5はしっかりと読んでいただけたら。

【川上委員】

無料か有料かで、何か問題となりそうなことは。

【鈴木公民館長】

条例の第10条使用料等の後段ただし書き部分で、無料で使用できる団体を定め、(1)は、行政等が使う場合、(2)は障がい者、介護者及びその支援者で構成する団体、(3)は社会教育関係団体又は福祉団体で、社会教育関係団体は、教育委員会生涯学習課に登録されている団体、福祉団体は、地域福祉課から補助金を受けている団体となる。(4)は、18歳以下、若者の団体である。

そして公民館利用登録団体は、減額の規定により2分の1減額になる。

その辺りの周知も説明会等でしっかり行い、大きなトラブルにならないよう努めていきたい。

(3) 公民館事業の報告について

【落合事業係長】

資料6をご覧ください。今回、5館の21事業で、本館と貫井南分館は共同事業である。内容については資料をご確認いただきたい。

【福井委員】

東分館の8ページの親子参加の小学生は何年生ぐらいであるか。また、親子参加型で、子供を2人連れてきたというケースがあるのか。

緑分館の13ページの募集方法で、緑中学校全生徒にチラシを配布し、結果として中学生1人であったが、何か反省されたことがあるか。

貫井北分館の14ページは講師が小林さんで、指導により実際は学生がガイドしたような記載であるが、どこの大学であるか。15ページは年間開催で、どのような間隔、回数で行ったものか。また、17ページの1から3回目等の講師が白紙である

が、これらの回も、はたけやまさんは参加されているのか。

【鈴木公民館長】

東分館の事業は、小学生低学年が中心で、全て親子での参加である。

【倉本緑分館長】

全生徒にチラシを配布したが、委員の指摘のとおりであり、中学生も忙しいことを考慮し、開催日時を工夫する必要がある。ただ、小学生の参加はうれしく、今後は広く告知したい。

【福井委員】

全生徒とは、何名に配っているのか。

【倉本緑分館長】

600枚配布している。

【伊藤貫井北分館長】

学生ガイドと歩く早春の多磨霊園の学生は、前原町のガイド養成のある専門学校である。ガイドの小林さんにサポートいただき、ガイドの卵たちが実際に市民の方々と一緒に多磨霊園を歩き、世代間の交流ともなった講座である。

認知症の介護に関する座談会は、実際に介護に携わった方々が、月1回の年間12回実施し、今年の4月からは自主サークルで開始し、今後はサポートを行っていく。

きたまちカフェは認知症の予防で、多くの高齢者の方々が参加され、3回目までは、企画提案した企画実行委員と参加者で段取りを話し合い、それ以降にニット作家を招き、使用すると気持ちが安心する、ケアマフという筒型の手袋を作成した。貫井北センターまつりでも作品を展示した。

【福井委員】

講師の空白は、括弧して企画実行委員としたら分かりやすいのではないかと。振り返りも、参加者と企画実行委員のみのようなところも記載したほうが良い。

非常によかった点は、15ページの認知症介護で、企画実行委員・担当職員感想で、サークル化したとの大きな成果で、こういう事業がどんどん増えるような運営が公民館の活性化につながる一つの大きな要因で、ぜひ内容を膨らませていただきたい。

【伊藤貫井北分館長】

今回の報告では抜けているが、きたまちカフェも今年より自主サークルとなっている。

【福井委員】

大いに期待したい。

【諏訪庶務係長】

今回は、５月２０日（水）午前１０時から公民館本館学習室Ｂで開催予定である。

６ 閉会

【大坪委員長】

それでは、第３８期第６回公民館運営審議会を閉会させていただく。ありがとうございました。

—— 了 ——